



第 67 回 定期大会 開催！



団結ガンパローを行う代議員の様子

日本税関労働組合は9月12日、都内において、第67回定期大会を開催しました。今号では大会の様態を抜粋して掲載します。

大会は冒頭、お忙しい中、ご臨席いただいたご来賓の丸川珠代衆議院議員、国公連合の田中副中央執行委員長からのあいさつに始まり、激励とお祝いのお言葉を賜りました。その後、福本副中央執行委員長の開会あいさつ及び主催者を代表して仲野中央執行委員長のあいさつがありました。

議事に入り、先ず、活動経過報告について原川書記長及び田村書記次長から1年間を振り返りながら、第66期の重点的取り組みを中心に報告がされ、続いて第67期運動方針(案)について、仲野中央執行委員長から組合員一人ひとりに寄り添った組合活動をやっていくことを基本に具体的な取り組み内容が提案されました。

その後、提案に対する審議が始まり、代議員の方から活発な意見・質問が飛び交い、熱のこもった審議が行われた結果、第67期運動方針(案)は全会一致で承認されました。その後、役員改選が行われ、仲野

中央執行委員長を中心とした第67期役員が信任されました。

その後「税関職員の処遇改善、定員確保を勝ちとる決議」、「公正で民主的な公務員制度の確立を求める決議」及び「大会宣言」が提案され、「健康で明るく働きがいのある職場」、「ゆとり・豊かさを実感できる生活」を実現すべく、組織の総力を結集し、組織率の向上、人材の育成を進め、断固闘い抜くことを確認・採択しました。

最後に仲野中央執行委員長が力強い「団結ガンパロー」を行い、大会は盛会のうちに締め括られました。

来賓紹介

大会当日、私たち税関労組のために、激励にかけていただきましたご来賓を紹介いたします。

大変お忙しい中、暖かいお言葉をいただきありがとうございました。



国公連合 田中副中央執行委員長



丸川 珠代 衆議院議員

中央執行委員長あいさつ（要旨）

税関労組は、昭和40年9月19日に税関労連として結成し、第66期も18名の中央役員が中心となり、全国に結集する組合員の生活の安定と安心を確保し、国民から負託された税関の社会的命を全うすべく、日夜懸命に職務に精励することができるよう、諸要求実現に向けて、運動を展開してきた。

はじめに、人事院勧告について、本年は、月例給を3.61%、15,014円、一時金を0.05月分引上げとする人事院勧告が出された。私たち公務員の給与は民間給与水準に合せることが基本のため、5年連続で月例給引上げ改定、さらに一時金の支給月数引上げ勧告となったことは、税関労組も上部団体とともに、民間春闘の取組みに参加してきた成果でもあり、特に、若年層に重点を置きつつも「全職員の俸給表を大幅に引上げる」とされたことは、皆さんの期待に一定以上、応えるものになったと考える。

税関労組としては、自律的労使関係が構築されていない現状、人勧尊重の立場から、勧告どおり早期実施を求めるが、決して楽観視することなく、上部団体に集結し、しっかり取り組んでいく所存である。



仲野中央執行委員長

次に、定員についてであるが、越境電子商取引の拡大による輸入貨物の増加が続いており、本年の訪日外国人も4,000万人を超えるものと思われ、地方空港やクルーズ船への応援などが恒常化している中で、レンタカーでの移動や勤務官署を出発地または到着地としない移動は支給対象外となっていました。粘り強く、関税当局に要求した結果、本年6月15日に両事案の超過勤務手当が支給できるようになったことは、嬉しい限りである。

テロ対策等の水際取締の強化や経済安全保障に関する体制強化等のため、税関の令和8年度末定員は、48人の純増により、10,302人となった。厳しい定員査定の中、連年増員を勝ち取れているのは、多くの国会議員の先生方に税関の必要性をご理解いただき、衆参の財務・財政金融委員会における「関税定率法等の一部を改正する法律案」の審議に際して、「税関職員の定員と予算の確保、処遇の改善等に特段の努力をほらうこと」を旨とする附帯決議の獲得にご尽力いただけている結果でもあり、組合員皆さんの真摯な仕事への取組みに対する、正に、国民全体からの評価である。

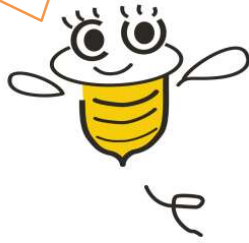
そして、本年8月28日に、税関の令和9年度定員要求が示され、「組織化・巧妙化する金密輸等への水際取締強化への対応」、「国際物流の適正性確保に向けた事業者を通じた貨物管理への対応」等として、356人の増員、合理化計画により101人削減として、差し引き純増255人を要求しています。

令和7年における不正薬物の押収量は3,211KGと前年比15%増加しており、令和元年以来6年ぶりに3トンを超え、過去2番目を記録し、極めて深刻な状況となっている。覚せい剤、大麻を始めとした不正薬物の密輸が後を絶たない状況にある。金地金の摘発も増加し続けている。さらに、来年3月から開催予定の横浜園芸博覧会をはじめとした国際イベントなどテロ対策のための取締りについても、一段と強化が図られるものとする。税関の現場では、国民の安全・安心を確保しつつ、適正かつ迅速な通関、検査を行うべく、効果的・効率的な取締りを行うべく創意工夫を凝らして対応しているが、やはり必要なマンパワーの確保は不可欠である。

引き続き、国民の代表者たる国会議員の方々に、税関の必要性、重要性を理解いただき、必要な税関の定員・予算を確保するという私たちの要求を実現するための取り組みを進めていく。

他にも、定年の段階的な引上げ等、様々な課題が山積している。我々が希求し続けている、「健康で明るく働きがいのある職場」「ゆとり・豊かさが実感できる生活」の実現を目指し、中央、各地区本部役員一同、一丸となって活動していくので、ぜひとも組合員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いする。

1年間
よろしくお願いします！！



会 計 監 査	“	“	“	“	“	“	“	“	“	中央執行委員 長	書 記 長	“	“	副中央執行委員 長	中央執行委員 長
前田義徳(横 浜)	内海達哲(東 京)	大城達也(沖 縄)	福本一也(長 崎)	渡川裕貴(門 司)	二神英輔(神 戸)	徳地隆人(大 阪)	森隆彰(横 浜)	内木太一(東 京)	高橋英也(東 京)	佐藤直樹(函 館)	田村史成(函 館)	原川佳也(名 古屋)	齋藤雅記(横 浜)	具志堅太一(東 京)	仲野裕幸(神 戸)



左から、田村、渡川、森、具志堅、佐藤、仲野、高橋、原川、徳地、齋藤、二神、福本、内木

今まで大変お疲れ様でした！



左から、北出、松本、吉永、福田、西、中山

“	“	“	“	“	“	“	副中央執行委員 長	中央執行委員 長
松本篤志(門 司)	西庄吾(神 戸)	福田和政(大 阪)	中山修平(名 古屋)	吉永結子(東 京)	堀田将恵(東 京)	北出淳一(函 館)	福本一也(長 崎)	

第67期

新役員紹介

退任役員紹介

定期大会に寄せられた激励のメッセージ

定期大会の開催にあたり、多くの国会議員及び上部団体・友誼団体から激励と連帯のメッセージが寄せられました。

日頃より、税関労組の活動に対して、ご理解とご協力をいただいている方々です。ここに御芳名を紹介し、感謝申し上げます。ありがとうございました。(順不同・敬称略)

【自由民主党】 麻生 太郎、浅尾 慶一郎、石田 昌宏、井林 辰憲、今枝 宗一郎、大家 敏志、尾崎 正直、小渕 優子、高村 正大、櫻井 充、田中 和徳、田畑 裕明、中西 健治、中西 祐介、西田 昌司、野上 浩太郎、長谷川 岳、長谷川 淳二、福原 淳嗣、古川 禎久、本田 太郎、御法川 信英、宮下 一郎、村井 英樹、森 英介、古川 禎久

【公明党】 上田 勇、杉 武久、西田 実仁、横山 信一

【立憲民主党】 小沢 雅仁、鬼木 誠、勝部 賢志、熊谷 裕人、古賀 之士、階 猛、柴 慎一、辻元 清美、森 ゆうこ、塩村あやか

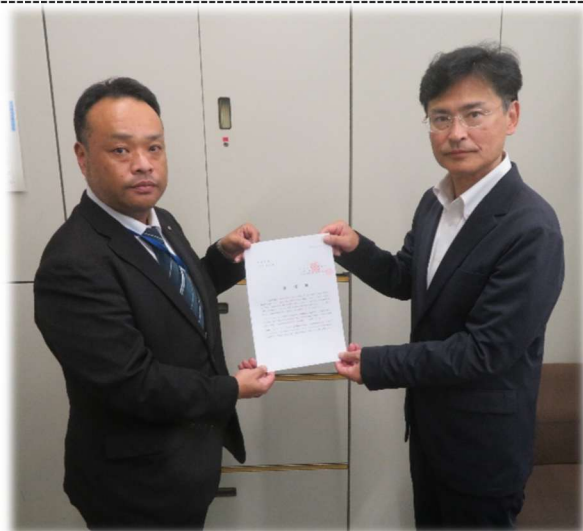
【国民民主党】 田中 健、玉木 雄一郎、堂込 麻紀子、古川 元久

【中道改革連合】 伊佐 進一、石井 啓一、斉藤 鉄夫、中川 宏昌、

【社民党】 福島 みずほ

【上部団体及び友誼団体】

日本労働組合総連合会、公務・公共サービス労働組合協議会、全国自治団体労働組合連合、全日本自治団体労働組合、全日本水道労働組合、日本教職員組合、日本高等学校教職員組合、全国林野関連労働組合、全農林労働組合、政府関係法人労働組合連合、全駐留軍労働組合、沖縄国家公務員労働組合、全開発労働組合、全大蔵労働組合連絡協議会、国税労働組合総連合、全財務労働組合、酒類総合研究所労働組合、全印刷局労働組合、全造幣労働組合、全日本たばこ産業労働組合、全国労働者共済生活協同組合連合会、中央労働金庫 霞が関支店



大会宣言等の要望書を提出する仲野中央執行委員長

令和8年9月14日(月)、税関労組は第67回定期大会で採択された
「大会宣言」
「税関職員の処遇改善、定員確保を勝ちとる決議」
「公正で民主的な公務員制度の確立を求める決議」
を、要望書として関税局長あてに提出するとともに、職員の処遇改善、定員確保により、健康で明るく働きたいのある職場、ゆとり・豊かさが実感できる生活が実現されるよう、最大限努力することを要望しました。
応対した考査管理室からは、「関税局長をはじめ局幹部等にお伝えする」との回答でありました。

関税局長あて要望書を提出